

夢咲かせよう 立志の丘で

平成26年1月30日
No.39

インフルエンザ猛威 1年生学年閉鎖

今週ははじめから、1年生でインフルエンザによる出席停止が、学年人数62名の1割を越えました。学校医の先生のご指導により、1年生は1月29日(水)、30日(木)の2日間、学年閉鎖といたしました。

インフルエンザはB型で、大曲仙北の小中学校ではA型が流行しており、本校だけがB型だそうです。2年生にも欠席が目立ち始めました。受験を控えている3年生には、幸いにも一人も出ていません。

インフルエンザは、体調が悪い場合に罹患しやすく、疲労、体調不良のないよう、十分な睡眠をとることと、手洗い、うがい、マスクの着用で防いでほしいと思っています。とくに、休日、出かけたりした場合は、マスクの着用、帰宅してからの手洗い、うがいを必ず行ってほしいと思います。

NEW ALT 来校

1月27日(月)から新しいALT(英語助手)の先生が本校に来ました。

名前は、Matthew Sanford Horwitz (マシュー サンフォード ホーウィッツ)先生です。

月曜日の朝でしたが、早速全校朝集会を開催し、新任の会を行いました。

はじめに、私からホーウィッツ先生の略歴を英語と日本語で紹介しました。

ホーウィッツ先生は、アメリカのカリフォルニア出身です。大学はUCB(カリフォルニア大学バークレー校)を卒業しました。

専攻は、哲学、神学、心理学です。日本では、10年くらい前に、大阪から札幌までをヒッチハイクしたことがあるそうです。私たちは、1年のうちに3人ものALTの先生と知り合うことができとても幸せです。よろしくお願いたします。

ホーウィッツ先生は、英語で、お話しくださいました。

自分の出身地、大学のこと。教えるのが好



きなこと。小学校で少し教えたことがあること。そして皆さんに、躊躇しないで(ためらわずに)どんどん私に話しかけてほしい、ということでした。

カリフォルニアは雪がなく、こんなにたくさんの雪を今回初めて見たそうです。現在住んでいるのは協和で、車が届くまで電車通勤となります。今週の日曜日に、刈野駅まで来て、学校までの道のりを確認しに来たそうです。

着任の集会が終わってから早速、3年生女子が職員室に来て、ホーウィッツ先生と会話していました。

この日から早速、おつきあいの時間が短い3年生の学級で給食を一緒にとっています。給食と一緒に食べている様子をホーウィッツ先生に尋ねたところ、

「子ども達が10人くらい私の回りに集まってきて、熱狂的に質問したり、話しかけてくれたりします。とても興奮します。」

と話してくれました。

ホーウィッツ先生は、日本語のカタカナが読めるくらいに日本語に堪能ですが、日本語を話すことはまだまだです。だから、私たちにも生徒にも英語で話しかけてくれます。これが、私たちにはとても新鮮で、英語がわからなくても英語でコミュニケーション出来ている感じを生徒は受けているのではないのでしょうか。まずは、簡単な英語で話しかけてみる、この積極性がコミュニケーションには大切なことだと思います。

午後からは、西仙北小学校に行っていますが、小学生もとてもエキサイティングだと先生は感想を述べてくれました。私も、毎日英語でお話していますが、久しぶりにホンモノの英語を話している感じがしています。とてもエキサイティングです。

たくさんの訪問者がいらっしゃいました

1月28日(火)の5校時に、次の4地区の方々、計11名が本校を訪問し、授業を参観、その後「確かな学力の定着」についての協議会を行いました。

- ・岐阜県岐阜市立東長良中学校
- ・富山県南砺市教育委員会・利賀小・福光中学校
- ・岩手県田野畑村立田野畑中学校
- ・北海道函館市立大川中学校

5校時の授業について紹介します。

3年B組は国語で「論理の展開に着目して読も

う」でした。新聞記事の社説を配布され、そのような文章のことを「論説」ということから始まりました。

3年A組は、理科で「回路と電流、電圧の関係を復習しよう」でした。課題のついたシートをみつめ、この課題が難しいのか簡単なのか、思案しているところでした。

それから、全員が先生の前に集まり、課題への道筋を聞きました。

2年B組は道徳で「母の反撃」という文を読んで、日常の自分の姿と重なるところがないか、考えていました。

G組は、数学で前回「正四面体」をつくったので、今回「正八面体」に挑戦していました。

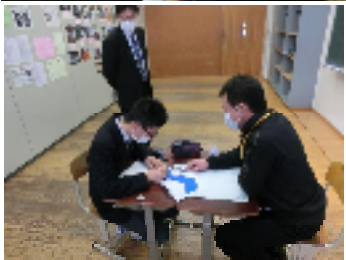
授業が終わってから、再び訪れると、正八面体がきれいにできあがっていました。

2年C組は、「平行四辺形になるための条件について」考えていました。

先生から、条件を渡され、それらの条件で、平行四辺形ができるもの、できないものについて判断をする授業でした。

平行四辺形にならない条件のときは、その条件を満たしながら平行四辺形でない図を1つ描く、という課題でしたが、これがなかなかできなくて、うんうんうなっていました。文章から作図することの難しさを学びました。授業後に再度訪問してみると、すべての課題が解決されてスッキリとした表情で「まとめ」をノートに書き、評価問題を解いていました。

1年A組は、インフルエンザや風邪等で人数が



少なかったですが、英語の時間で「何をしているのか、たずねたり答えたりできる」授業でした。二人組になって、じゃんけんをして勝った方がカードをむきます。そのカードの絵を相手が見ないで、英語で質問してあてます。

たとえば、「Are you playing the piano? No, I'm not.」のように、カードを持っている人が「YES」と言うと、質問した人の勝ち、質問した人が3回質問しても当てられなかったら、カードを引いた人の勝ち、という活動でした。終わった後にカードの数を競ったら7枚という生徒が最高でした。

1年B組は、数学で「立体をいろいろな観点で分類する」でした。多面体が各班に配布され、そのグルーピングを自分たちの視点に基づいて行いました。

2年A組は、美術で「履けば〇〇〇できる靴」の作成でした。「願い」や「思い」を紙にたくし、世界に一つしかない靴をつくっていました。

協議会では、本校から校長、教頭、研究主任が出席しました。学校経営、指定校研究について説明をし、その後に質疑応答となりました。質問事項は次のとおりです。

- ・職員定数について、2年生は3学級で行っているが、定数との関係はどうなっているのか。
- ・国語の授業を見たが「わからない」と生徒が言える手立ては？
- ・廊下を通ったときに生徒たちの挨拶がよいが、保健室登校や不登校の実態は？
- ・小中連携がよく行われているようだが、どのような連携を行い、効果があったことは？
- ・心の教室相談員はどういうシステムになっているのか？そしてその実態は？
- ・小中の連携と中高の連携も要覧にあるが、高校との連携はどのようにしているのか？
- ・1時間の授業に耐えられる課題とあったが、そのような課題をつくるコツは？
- ・学力のよい秋田県で、全国学力学習状況調査の通過率が、どのようにすれば高くなるのか？

一つ一つの質問に3人で答えていったら、1時間はあっという間に過ぎてしまいました。多数訪問いただき、ありがとうございました。

